

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 20.5.15 第 169 回国会第 12 号

5 月 15 日、第 12 回の委員会が開かれました。

1 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 42 号）

- ・若林農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

亀井善太郎君（自民）

- ・中小企業における HACCP 手法の導入率が低い理由についてどのように認識しているか。また、今後に向けた具体的な目標値を設定しているのか。
- ・中小企業における HACCP 手法の導入を促進する上で必要な人材の育成に対してどのような支援を行っていくのか。
- ・食品産業の競争力強化策についてどのように考えているか。

石川知裕君（民主）

- ・農林水産省の調査では、「導入する予定はない」と回答する企業が前回調査よりも増えているが、今後更に HACCP 手法の導入が進むと考える理由は何か。
- ・HACCP に対する消費者の認知度を高めていくための取組がより重要と考えるが、今後どのように対応していくのか。
- ・JAS 法に基づく罰則をより厳格に適用していくべきではないか。

仲野博子君（民主）

- ・製造・加工工程だけでなく、フードチェーン全体を通じた HACCP 手法の導入を促進していくための支援策の在り方についてどのように考えているのか。
- ・EU への水産物輸出促進の観点から、HACCP 対応施設の認定取得に向けた支援をより積極的に行っていくべきではないか。
- ・中小零細な食品製造業者の厳しい経営状況にかんがみ、HACCP 手法の導入を促進していくためには、本法に基づく融資・税制上の支援措置だけでなく、より積極的な支援を行っていくべきではないか。

菅野哲雄君（社民）

- ・中小零細な企業に配慮しつつ、HACCP 手法の導入を義務付けることについてどのように考えているのか。
- ・消費者の理解を促進するため、各種 HACCP 認定制度を整理する必要があるのではないか。
- ・食の安全・安心を確保するための包括的な法制度の在り方等についてどのように考えているのか。

2 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・若林農林水産大臣、伊藤厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小野次郎君（自民）

- ・農林水産省及び各都道府県における有機農業の推進状況はどうなっているのか。
- ・有機農業で生産された農産物の販路確保や流通体制の整備に向けてどのように取り組んでいくのか。
- ・鳥獣被害の防止と野生動物との共存を図るために、農林水産大臣はどのような対策が望ましいと考えているのか。

西博義君（公明）

- ・「食料の未来を描く戦略会議」が取りまとめたメッセージに指摘されている穀物備蓄の重要性について、「21 世紀新農政 2008」に盛り込まれていないのはなぜか。
- ・食料の安定供給の観点から、種苗や肥料などの生産資材について、国際的な需給等の実情を総合的に把握し、十分な確保に向けた検討をすべきではないか。

- ・農林水産物等の輸出促進の観点から、輸出のノウハウ等を提供する「輸出プロモーター人材バンク」を創設すべきではないか。

松野 頼久君(民主)

- ・高病原性鳥インフルエンザワクチン接種について、発症は抑制できるが、感染の抑制ができないとする農林水産省の見解の根拠は何か。
- ・高病原性鳥インフルエンザが発生した場合の殺処分だけでなく、ワクチンを予防的に接種できる体制を整備すべきではないか。
- ・ワクチン接種が新たな発症を減少させ、ウイルス排泄を軽減させることで、人への伝播リスクを低減させるとされていることについて、厚生労働省はどのように考えているのか。

高井 美穂君(民主)

- ・国土交通省北海道開発局における農業土木工事をめぐる談合事件について、国土交通省と連携して、農林水産省としてどのように対応するつもりか。
- ・WTO農業交渉が行われている中、自由貿易を妨げる輸出規制に対して、政府として規律強化のための働きかけを行っているのか。
- ・ミニマム・アクセス米の買入札不調の結果、輸入量

が年間のミニマム・アクセス数量 76.7 万トンに満たないが、今後どのように対応するつもりか。

大串 博志君(民主)

- ・農林水産省は職員の再就職のあっせんを直ちに切りやめるべきではないか。
- ・農道の 6 割が市町村道に転換されていることについて、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・米の生産調整について、地域水田農業活性化緊急対策の進捗状況はどうなっているか。

横山 北斗君(民主)

- ・ホタテガイの貝毒の監視体制に係る都道府県の取組に対し、国は財政支援や指導を強化する必要があるのではないか。
- ・ホタテガイの貝殻を漁場環境の改善に利用している事例があるが、その実態はどうなっているか。
- ・環境省の鳥インフルエンザ等野鳥対策に係る専門家グループ会合における協議の内容はどのようなものか。

- 3 食品情報管理伝達システムの導入の促進に関する法律案(筒井信隆君外 3 名提出、衆法第 12 号)
 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律等の一部を改正する法律案(筒井信隆君外 3 名提出、衆法第 13 号)
 食品の安全性の確保を図るための農林水産省設置法等の一部を改正する法律案(筒井信隆君外 3 名提出、衆法第 14 号)
- ・提出者岡本充功君(民主)から提案理由の説明を聴取しました。